

K120.71

34.2

4

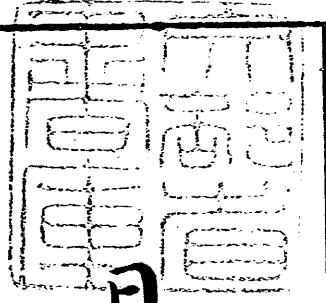
村田忠恕編

小學校習字帖

三宅敬造書

卷四

1901. 大正元年



日用文字并日用書類

高田一

教師醫師神官僧侶書家

畫工時繪彫刻縫箔裁縫。

指物染物塗師表具印刷

陶工鍛冶饒職大工左官。

廣通博知景綱隆康元教

利則親之真經胤宣敦純。

一谷壇浦湊川桶狹間川

高四五

中島山崎小牧關原伏見。

松島巖嶋天橋立和歌浦

高田六

須磨明石吉野嵐山月瀨。

工事測量堤防架橋疏水

浚渫水閘堰樋水柵蛇籠。

運搬配達入荷拂底割減

高四八

氣配騰貴下落質入抵當。

運搬配達入荷拂底割減

氣配騰貴下落質入抵當。

公債株券切符讓受賣渡

約束證書連署調印登記。

玄關書院客間座敷奥部

高田十

屋臺處湯殿土藏物置廐。

藍綠萌黃淺黃緋紅花色

納戶鶉色空色鬱金鶯茶

熊狼羊猿兔狐狸貉鼬獺

鶴鷺鳶鴉鷹鷓鴣雀燕。

鱸占曼又麗參青葉雪堅有
魚魚魚魚魚魚魚魚魚魚魚

章魚烏賊鮑蛤蠣蜆蝦蟹。

神至腦髓臟腑動靜脈血

筋肉骨膜心肺腸胃肝膽。

性質從順容儀莊嚴思慮

精密注意周到言語流暢。

應答明晰動作敏捷舉止

溫雅接待懇篤授受鄭重。

剛毅正直清廉潔白間雅

貞淑謙遜辭讓知足安分。

一孝志を——自——々日を

皇后陛下の御誕生を。バ。

親
友
お
ち
集
い
唱
歌
會
を
催

大
師
代
を
祝
ひ
糸
ら
せ
度
ゆ
め

清家因白方陣其五十五午後一時頃

女田三十一

清出下され度在時三時頃。

皇太子は清祿天皇よりまはらば
招

文昭廿一

下され有る難く存じらば。

是妃の席の端より申す

女四十三

何ぞは許し賜ふ

御隠居様は病氣の御是程の

女四廿四

はるかにいふにちとせられ也。

御高年より別して口係表

文四四五

是大切の事と存じたまひ。

活婦之自其安産之男子誕生

女四、廿六

の類也。由一なる。由一なる。

多為人様より健康より肥立

女四ノ廿七

梅づきれは清く存りぬ。

この書は并にまだれどもお祝

女
世
八

ひのふかきまじりてお祝

今年殊ふくむ善報多しと
標

文四ノ廿九

忙しき事なほ有るに
相成る事也。

只今浮世の表一計り

玄高三十

只今浮世の表一計り

ふふふふふふふふふふ
居るお梅様

女四世一

暮のは祝賀は贈りふふふふふふ。

萬石の徳に事なれば
一石の徳に事なれば

三四女

十人の子に
一人の徳に事なれば

此福の目より追々来る

女四世四

母の福より来る。

幸ひの末世も業の居る世なり

女四世五

橘のこ出ぬけり名は誘ひ也。

福 懸り 居 離 度 友

福 懸り 出 来 出 来 出 来

明日を心計りの祝ひなす

時よ出さず度は待てぬ。

明治二十八年二月五日印刷全二十八年二月九日發行
明治廿八年四月十四日訂正再版印刷全廿八年四月十八日發行

村女習四
定價金六錢

版權所有

編者 村田忠恕

茨城縣水戸市櫻町三番地

筆者 三宅敬造

東京市京橋區手筒堂三丁目

發行者 村田通也

東京市四谷區六番町四番地

發行兼
印刷者

金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町三丁目十
七番地

代表者

金港堂書籍株式會社社長
原亮三郎
東京市下谷區龍泉寺町四丁目十番地

金港堂書籍株式會社



